

名前：

韓国の総理大臣の人事にかんする聴聞会、
これは私が今日お昼に読んでいたインターネットの記事である。国会で行っている会義を
まるで同時にみることが出来る。このよう
にインターネットの発展は大量、迅速な長点
に基づいて人々の生活を変化させている。で
もこれはかんけいがあり絶対に紙を利用し今
まで情報の代表者という新聞と雑誌の代りは
できない。

この理由としてまず一つ、新聞にはさまざ
まな情報があるからである。そして良質のセ
ンセーションがされている。逆にインターネットでは
情報はただのガッシュのようになっている、
正か分からないかを判断することがとても難し
いからである。またお水々々が直にさかして読
むことで、便食のように自分の興味である情
報だけ読む恐れがある。

二つ、電子の機械でもう情報だからいろ
いろの問題ができることがある。毛二アで
読むので目がはやく回り回るといいたくなり、

集中力も低くなる。そして、記事をスクラッ
プし後で読む時、必ずパソコンを使えるよう
になる。このようなことは少し面倒なことだ
普通の人はあまり行かれないし、それで一回性
の情報で終わる場合も多くなることだ。

三つ、人には何かをあつま、こほうかんす
ることが好きになる習性がある。そして自分
の興味があることを集める、(例えば芸能人や
音楽のジャンルのことなど)それでやりがいを
感じる人も多くうた。ブログなどを使う方法
ももちろんあるがログ的に肌の上で雑誌
などが多くあつめていいる時の楽しさもある
ことはできないことだ。

以上の三つのことで私は新聞や雑誌など
のいんさつことは必要だと思う。でも今のよ
うに変化が速い時に、新しい情報をはやくせ
つするインターネットも大事なことだと思う。
この両方を適切に利用し、流行の先頭の人とも
ログログ的に楽しさを持つ、こいる人になろう
とわが、こいる。